

2023年 (令和5年) 9月12日 (第三種郵便物認可) 昭和23年4月15日 毎月3回発行 (第1、第2、第3火曜日)

今号の特集
▷嗜好飲料特集 ④～⑤面
▷パスタ・パスタソース特集 ⑥～⑦面
▷オリーブオイル特集 ⑧面
▷だしの素特集 ⑨面
中部飲食料新聞社ホームページ http://chuin.net/ (業界情報発信中)



第3483号 発行所 中部飲食料新聞社 名古屋市中村区名駅5-18-9 電話(052)571-7116代表 FAX(052)571-7118 東京局 東京都中央区日本橋横山町1-4-203 電話(03)5614-7531 FAX(03)5614-7532

中部 大正から 食を伝えて100有余年 飲食料新聞

中食連 健康、SDGsテーマに 第14回セミナー開催

中部食料品問屋連盟は「第14回 中食連セミナー」を8月30日、名古屋市内で開催、129名が参加した。開催に先立ち、西山徹

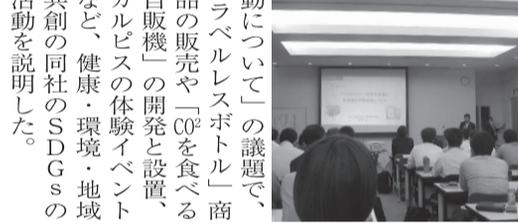


常任理事は「中部食料品問屋連盟は様々な活動を実施しており、食品業界の最新トレンドを紹介する中食連セミナーもその一つである。コロナ禍で開催を見送っていたが、今回4年ぶりの開催となった。コロナ禍の前と後で大きな変化があり、コロナ後の新たな取組みの1つが持続可能な社会を目指すSDGsである。また、健康への意識も大きく高まっている。今回

愛知県小牧市は、伊藤園、キンビレッジ、アサヒ飲料及び豊田通商の最新トレンドを紹介する中食連セミナーもその一つである。コロナ禍で開催を見送っていたが、今回4年ぶりの開催となった。コロナ禍の前と後で大きな変化があり、コロナ後の新たな取組みの1つが持続可能な社会を目指すSDGsである。また、健康への意識も大きく高まっている。今回

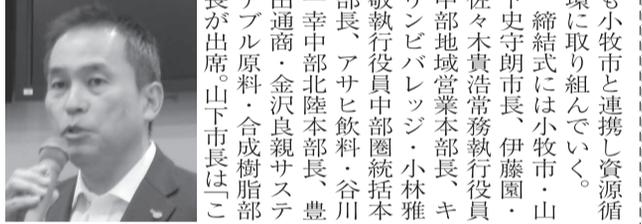


愛知県小牧市は、伊藤園、キンビレッジ、アサヒ飲料及び豊田通商の最新トレンドを紹介する中食連セミナーもその一つである。コロナ禍で開催を見送っていたが、今回4年ぶりの開催となった。コロナ禍の前と後で大きな変化があり、コロナ後の新たな取組みの1つが持続可能な社会を目指すSDGsである。また、健康への意識も大きく高まっている。今回



「ラベルレスボトル」商品の販売や「CO2を食べる自販機」の開発と設置、カルピスの体験イベントなど、健康・環境・地域共創の同社のSDGsの活動を説明した。

「食を知る辺」 一般社団法人食品ロス・リボンセンターは16年に発足、食品リサイクルマッチング事業やリサイクルグループの構築支援事業などを行っている。寄贈した食料は6333食分で、7月の九州北部の大雨で被災した方々や、避難生活を支援する災害ボランティアに活用してもらった。

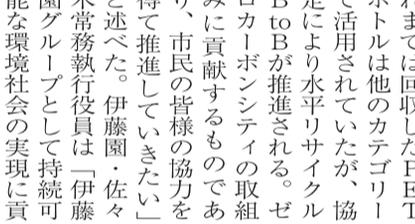


も小牧市と連携し資源循環に取り組みたい。山田下守朗市長、伊藤園・佐々木貴浩常務執行役員、中部地域営業本部長、キンビレッジ・小林雅敬執行役員、アサヒ飲料・谷川一幸中部北陸本部長、豊田通商・金沢親樹サステナブル原料・合成樹脂部長が出席。山田市長は「こ

は「キリングループでは長期経営構想で『食から医にわたる領域で価値を創造し、世界のCSV先進企業となる』を掲げ、当社として健康や環境、コミュニティで社会貢献活動を進めている。今回の協定は地域とともに環境の取組みを推進するものであり、一番身近な容器であるPETボトルの取組みに尽力したい」と述べた。アサヒ飲料・谷川中部北陸本部長は「アサヒグループとして環境の取組みを進めており、当社としても特に容器包装分野に力を入れ、独自目標を設定し使用するPETボトルを環境配慮素材とすることを目標としている。中部北陸本部においても独自でSDGsの推進など熱心に取り組んでいる。小牧市との取組みを推進し環境に貢献していく」と述べた。豊田通商の金沢親樹部長は「当社はサステナビリティ重要課題として4つの重点分野を設定している。そのなかの1つが廃棄物の再資源化による循環型社会の構築である。今回のBtoBの取組みはそれを具現化するものである」とコメントした。

三菱食品とキューソー流通 物流業務統一業務提携 卸&物流企業によるシナジー 三菱食品は、キューソーグループで倉庫業や貨物利用運送業等を営む(株)キューソー流通システムと、主に食品物流事業の一部を統合。両社が出資者とする合弁会社に承継することによって業務提携した。契約の効力発生日は24年4月1日。 今回の業務提携内容は「主に食品を対象とした首都圏エリアの低温物流分野における物流事業の共同推進」。三菱食品が

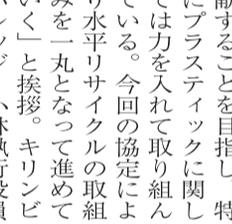
100%子会社として設立する(23年10月2日設立予定)準備会社「エル・プラットフォーム(株)」を吸収分割承継会社(合弁会社)とし、三菱食品及びキューソー社それぞれの吸収分割会社とする簡易吸収分割方式を採用した。エル・プラットフォームの出資比率は三菱食品が75%、キューソー社が25%を予定する。三菱食品はグループで「食のビジネスを通じて



も小牧市と連携し資源循環に取り組みたい。山田下守朗市長、伊藤園・佐々木貴浩常務執行役員、中部地域営業本部長、キンビレッジ・小林雅敬執行役員、アサヒ飲料・谷川一幸中部北陸本部長、豊田通商・金沢親樹サステナブル原料・合成樹脂部長が出席。山田市長は「こ

は「キリングループでは長期経営構想で『食から医にわたる領域で価値を創造し、世界のCSV先進企業となる』を掲げ、当社として健康や環境、コミュニティで社会貢献活動を進めている。今回の協定は地域とともに環境の取組みを推進するものであり、一番身近な容器であるPETボトルの取組みに尽力したい」と述べた。アサヒ飲料・谷川中部北陸本部長は「アサヒグループとして環境の取組みを進めており、当社としても特に容器包装分野に力を入れ、独自目標を設定し使用するPETボトルを環境配慮素材とすることを目標としている。中部北陸本部においても独自でSDGsの推進など熱心に取り組んでいる。小牧市との取組みを推進し環境に貢献していく」と述べた。豊田通商の金沢親樹部長は「当社はサステナビリティ重要課題として4つの重点分野を設定している。そのなかの1つが廃棄物の再資源化による循環型社会の構築である。今回のBtoBの取組みはそれを具現化するものである」とコメントした。

「主」に食品を対象とした首都圏エリアの低温物流分野における物流事業の共同推進。三菱食品が100%子会社として設立する(23年10月2日設立予定)準備会社「エル・プラットフォーム(株)」を吸収分割承継会社(合弁会社)とし、三菱食品及びキューソー社それぞれの吸収分割会社とする簡易吸収分割方式を採用した。エル・プラットフォームの出資比率は三菱食品が75%、キューソー社が25%を予定する。三菱食品はグループで「食のビジネスを通じて



も小牧市と連携し資源循環に取り組みたい。山田下守朗市長、伊藤園・佐々木貴浩常務執行役員、中部地域営業本部長、キンビレッジ・小林雅敬執行役員、アサヒ飲料・谷川一幸中部北陸本部長、豊田通商・金沢親樹サステナブル原料・合成樹脂部長が出席。山田市長は「こ

は「キリングループでは長期経営構想で『食から医にわたる領域で価値を創造し、世界のCSV先進企業となる』を掲げ、当社として健康や環境、コミュニティで社会貢献活動を進めている。今回の協定は地域とともに環境の取組みを推進するものであり、一番身近な容器であるPETボトルの取組みに尽力したい」と述べた。アサヒ飲料・谷川中部北陸本部長は「アサヒグループとして環境の取組みを進めており、当社としても特に容器包装分野に力を入れ、独自目標を設定し使用するPETボトルを環境配慮素材とすることを目標としている。中部北陸本部においても独自でSDGsの推進など熱心に取り組んでいる。小牧市との取組みを推進し環境に貢献していく」と述べた。豊田通商の金沢親樹部長は「当社はサステナビリティ重要課題として4つの重点分野を設定している。そのなかの1つが廃棄物の再資源化による循環型社会の構築である。今回のBtoBの取組みはそれを具現化するものである」とコメントした。

meito とけだす 果実の紅茶 果実入りフルーツティー フリーズドライの果実 NEW じんわりとけだす甘みと香り。深まる果実の余韻を、ゆったりとお楽しみください。 ユズ&アップル アップル&ピーチ ストロベリー&ラズベリー 名糖産業株式会社 https://www.meito-sangyo.co.jp

匠 TAKUMI NO CAFE AU LAIT 「コーヒー」「ミルク」「砂糖」 匠がこの3つにこだわって仕上げた、やさしい味わい NEW 砂糖以外の甘味料不使用 KATAOKA 片岡物産株式会社 本社 〒105-8615 東京都港区新橋6丁目21番6号 TEL.03(5405)7001(大代表) 名古屋支店 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目1番1号 小島橋本町1丁目 TEL.052(243)6175(代表)